

放課後は

The Other Side Of Afterschool

メスの顔

吉田犬人

Inuhito Yoshida presents



成年
コミック



放課後は

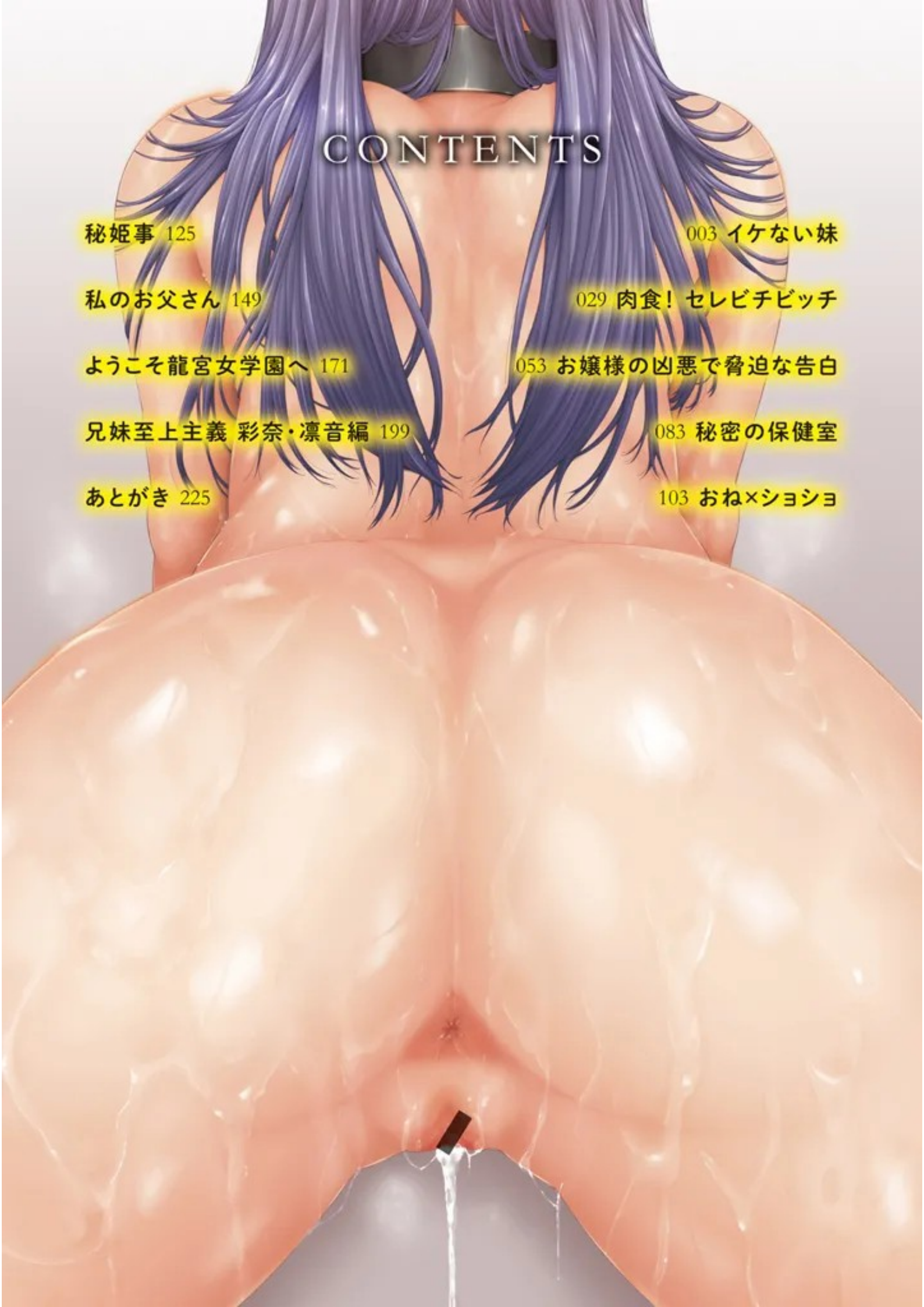
メスの顔

The Other Side Of Afterschool

吉田犬人

Inuhito Yoshida presents





CONTENTS

秘姫事 125

003 イケない妹

私のお父さん 149

029 肉食！セレビチビッチ

ようこそ龍宮女学園へ 171

053 お嬢様の凶悪で脅迫な告白

兄妹至上主義 彩奈・凜音編 199

083 秘密の保健室

あとがき 225

103 おね×ショショ

ん…
コウ兄…

もっと
強く突いて

こら
結奈…

声が
大きいって…

らっらっ
こんなんじや…

妹
イケない

俺達兄妹は
あらぬ関係だ…

下の親父達が
起きちまう
だろ？
もっと静かに

イケない
よお…

んっ

小さな頃の戯れは
エスカレートし…

自然とお互い
求める体にな
るのだが

田舎だから
ホテルなんか
一軒も無い

行為は親が
寝静まった後
自室でひっそりと
やるしかない

大きな音が
立てられない
中途半端な
セックスに

フラスト
レーションは
溜まる一方の
俺達…

スマン…
そろそろ
射精る

特に絶頂に
達せない
結奈は…





結奈くっ

明日から
休みだし
皆で遊びに
いかない？

ごめんっ



今日は
大事な用が
あるから

また
今度ね

スミ

お...おう
またね



早く...
早く帰ら
なきゃっ!!

だって—

ガッ



だって
今日は...

突然だが
お前達よ...

は

は



朝から
ずっと…

ほあ

この時を
待ってたん
だもん…

これから
コウ兄との
三日間を
考えたら

もう
ぐちよぐちよ
だよお…

ほ
ほ

ズン
ズン

ぬゅっ
ぬゅっ

すごいな…

すごい事に
なってる…

ビキッ
ビキッ

コウ兄の
ココも…

ああ

カチャ

早く…
して欲しい
だよお…

限界…
だよ…

コウ兄い…

ぐちよぐちよに
なるような
全開セックス…
んっ♡

俺もだよ

ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ

ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ





結奈のやつ
相当……くっ
溜ま……た
んだな……っ
くあつ

んっ

ぶる
ぶる
ぶる

んっ

んっ
んっ

ぶる
ぶる
ぶる

んっ

んっ
んっ

んっ

んっ

んっ

はああ……
私……
幸せだ……

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ





結奈…っ

あ…
っ…

は
っ



思い切り
フェラ
出来たし…

軽く
イッちゃった…

お前
もしかして
今のフェラで
イッたのか？

はーっ
はーっ

はああ…
すごいよお…



うん…



コウ兄の
ザーメン
もっと
欲しい…



本当は
そんな声で
鳴くんだな
初めて聞いた

そこからはもう
人としての
営みと言うより
ただ獣の
交尾のように

すごいよおつ

すごいよ
これええっ♡

全力セックス♡
凄すぎる♡♡♡♡♡

そろそろ…
射精すぞっ

もっと
聞かせて
くれっ

何も考え
られなく
なる…っ♡





解放された
セックスって

こんなに
気持ち良かった
んだ……

射精すぞっ
結奈っ!!

射精すぞっ

な

このまま……っ
膣内にいっ!!

俺じゃなくて
チンポだけが
好きなのか？

好き♡

コウ兄ちゃん

また…っ
射精するっ!!

チンポも好き



コウ兄
チンポ
好きいいっ

グニッ

すきっ

しゃあ

グニッ

グニッ

グニッ



コウ兄…
お風呂で
しよ…

グニッ



グニッ



考えたな
結奈

確かに
ここなら
汚れないし



次々と
溢れてくる



コウ兄も...っ
一杯射精して

好きなだけ
噴いていいぞ



「ウ兄の
ザーメン
飲むだけで
もう…」

ずずずず



ど
あ
あ
ん

ど
あ
あ
ん

イクぞう
結奈っ

あ

ひ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

く
い

ド
ド

ド
ド

ド
ド

ド
ド

ド
ド

ド
ド

ハッ
ハッ

ハッ

イキっぱなしの
ぐちよぐちよ
セックス
最高おおっ

ハッ
ハッ







あ
シラホも
気付いた?

クロミ
あのオジサン
ヤバイよお



不甲斐ない
父さんを
許してくれ...

はあ...

この公園で
いいか...

シーン

肉食セレビチビッチ



あの
オジサンにい...

今夜の
獲物は...

私もさつきから
ピンピン感じ
ちやってる♡

アタシのココが
アレはヤバイって
言ってる♡



ドキュン

けっこん♡



アタシ達と
イイコト
しない？

そんな事
してないで
さー



その
オジサン

なっ!?
なんだ
君達は!?

ビクッ
ザッ



これから
死のうとしてる
オジサンに
説教されてもお
ケリ

アッハッハッ
オジサン
面白いねー

なっ…



私はこれから
死ぬんだ

金が欲しいなら
持っていけばいい
それから
遅いから早く
帰りなさい

私達はあ…
オジサンとお…

落ち着いてよ
オジ・サン



ね？
死ぬなんて
悲しい事
言わずにい
ぬキ

気持ちイイ事お
したいだけ
なの



ズデッ









すーい
オチンポが

た..
勃起つて
しまった..

食べきれ
ないよお
このチンポお♡

す...済まない..
気持ち悪い
だろう...?

アゴ
外れそ...♡

君達のような
若い子に欲情して
しまつて..

仕事もろくに
出来ないのに
こんな..

あ..
本当に
お終いだ..

あーもう
泣かないの
折角こうやって
生きてる訳だし

アタシ達と
出会ったのも
縁だと思つてさ

これからは私達が
オジサン的人生
楽しくして
あげるからあ

ねえ♡♡

もしかして
その
エンブレムは…

確か名門私立
白虎ノ門
女学園…!!

あ
オジサン
知ってる
んだあ

知っているも
なにも…

あそこは
セレブ中の
セレブ…

娘とほとんど
歳も同じはずなのに
住む世界が違うのか?
なんで…

なんで君達の
ようなお嬢様が
こんな事を…?

ちゅるる

ん…
お嬢様だから
じゃない?

大抵の事は
やり尽くし
ちゃって
刺激が無いん
だよなぁ

あゝ
ずるうい
私も欲しい
のにい

いただきますー

ほんっ
と

だからあ
コレが私達の
新しい刺激って
わけえ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ

ぽっ





すっごいよお？
アタシ達の涎で
湖が
出来ちゃってる



オ・ジ…

我慢しないで
全部射精し
ちやいなよ



サン♡



準備も
出来た事
だし...

ん

はあ

はあ

そろそろ
挿入れるよー

はあ

あ

はああ...今から
コシを膣内に
挿入れるなんて
ソクソクする♡

ん

ん

ん

ん

ん

ん

全部入る
かなあ

ん

オジサンの
極太オチン...

ん

うっわ
ヤバ過ぎ...

お腹の中
オジサンの
チンポで一杯...

ん

ポほお♡

久しく
忘れていた
この感触...

ん

どお？
JKオマ○コの
感想はあ

あんなとこで
死ななくて
良かった
でしょお？

今度は私とお
キスして…♡

私は今娘と
同じ歳の子と
セックスをして
しまっている

果たしてこれは
現実なのだろうか

ひょっとして
本当はもう
死んでいて此処は
あの世の桃源郷
なのでは…

わんわん♡

いつその事
もう
そう思う事に
する…!!



ヤバイ
でしょ♡

お
ぢゃ
ぢゃ
オジサンの
極太チンポ

な
だ
腔内で射精して
もらうと
更にすごいよ

頭ぶっ飛ぶ
から♡

な
か
腔内れっ♡

オジヒヤン
な
だ
腔内れ
射精しへる♡

イクぞ……

あ
ぢゃ
ぢゃ

あ
ぢゃ
ぢゃ

ず
ぢゃ
ぢゃ

ず
ぢゃ
ぢゃ
ず
ぢゃ
ぢゃ
ず
ぢゃ
ぢゃ

ず
ぢゃ
ぢゃ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

は
ん

あ
ぢゃ
ぢゃ

ず
ぢゃ
ぢゃ
ず
ぢゃ
ぢゃ

ズ
ズ
ズ
は
ん

ず
ぢゃ
ぢゃ











いっく

あ

いっく

イクイク

イクイク

イクイク

イクイク

オジサン
何で死のうと
してたの？

そ…
それは…





須王明日香
資産家令嬢で
この学園の
生徒会長だ

容姿端麗
成績優秀 そして
学園のアイドル的
存在

どこから
見ても
完璧人間

だけど
僕みたいな
オタクに
対しては

まるで
社会不適合者…
汚い物を見るような
眼差しで蔑む

水体麻下は
最低限の
ルールで
ルールで

学園内に玩具の
持ち込みは
禁止のはずよ

ここ…これは
特撮部の
撮影で…

そして
自分が常に
世界の頂点だと
思ってる

特撮は確か
まだ同好会
だったわね

はい！
確かに！

いくら美人でも
こういう
上から目線の
上流ぶった人間は
苦手なんだ…

部ではないので
よってソレは
校則違反よ

こんなルールも
守れないのかしら
嫌ねえ

これだから
オタクの
人って—



!?

へっ!?

くちゅん♡

え？



ただでオタクを
悪く言うなよ!!

ぼっ僕の事は
どんなにバカに
してもいい!!

くわっ



…なんて
言える訳
ないよな…



面倒事は
いつも僕に
押し付け
やがって

いけねー!!
生徒会の
アンケート提出
忘れてたっ



すいません!!
提出遅れて
ましたあ!!

ゼー
ゼー
ドク



0.5秒



一生の不覚…汚点…
どうにかしないと…

殺す…?
コイツ…
殺さない…

なんかすごく
物騒な事
言ってるん
ですけど!?

よりによって
こんな奴に
見られる
なんてえ…

普段はあんな
上品ぶってる
くせに

実はとんでもない
猫被ってたのかここは
日頃のお返しをする
チャンス…!!

ズーン

こ…こんな奴って
そっちこそ
こんな所で

鍵も掛けしないで
オナってるなんて
とんでもない変態
じゃないか人の事
散々言ったくせに

よっよし!!
言って
やったっ

?

アンタ…
今見た事
誰かに話したら…

本当に殺すわ…
どんな手を
使ってもっ!!

ええっ!?
言った後に殺しても
手遅れなんじゃ!?

い・い・わ・ね

本当に何を
されるか
わかったもん
じゃない
権力怖い…

じゅんじゅん



私のだけ
見たなんて
許せないわ!!

あっアంతの
オオオっ
オナニーも
見せないっ!!

はああっ!?



ズルいわ…
え…



ひう!?

そこまで言うなら…
ええい!!
ままよっ!!



何を考えて
いるんだ!?
あ…あ…
そんな事
出来る訳が…



けど本当に
死ぬよりは
一億倍マシか…





ここまで来たら
言ってるやうっ

どうせなら
オナニーも
見たいなあ…



えっ!!
何で
止めるのっ!!

須王さんの
おっぱいも
オマ○コも
見れて嬉しい
んだけど…



なっ!!
調子に乗るんじゃ
ないわよ!!
バカな事
言わないでよっ!!

その方が
捗るし…

須王さん
見られてる方が
興奮するタイプ
みたいだし(適当)

ほらっ
アンタも
早くっ

オナニー
続けなさいよっ



ふざけ
ないでよっ

そっなの…?
私って
そっ見えるの?



確かにこいつに
見られて私…
興奮してる…!!

うわっ…言ってみる
もんだなあ 本当に
オナニーしてる

なんで…こんな奴
私…こんな奴とっ

取り返しの
つかない事
しちゃってる…っ
でも止まらない!!

こんなに
興奮するの
初めて…っ

もっと
近くに
寄りなさいっ

よく見えない
でしょ!!

アイツ
明日香姫に
怒られてる

ドン臭い奴
だなあ

でっ
射精る…っ

え!?

うん…





須王さんが
僕のザーメンを!?

赤ちゃんの素...



これが...

男の人の...



精液...っ!!

んんっ!!



ザーメン舐めて
感じるなんて...

ちよっ!!
何するの!?

アンタなんか
この私に触れて
いいと思って...

今更上品
ぶったって
遅いよ

本当に変態
なんだな...
須王さん

ちよっ!!
いや...っ



力が…
入らないっ!?

舌入れられ
てる…!!

ひゅ



コレが
欲しいんでしょ?
まさかこれで終わり…
じゃないよね

やっ
やめ…っ



須王さんの
私設警護を
呼ぼうと思えば

こんな事には
なってなかった
はず…

なのに
それをしないと
言う事は…

た…確かに
男性器がどんな
ものか
興味はあった

もうオナニーだけじゃ
物足りないって
最近を感じ
始めてたけど…っ



挿入れるよ…

だからって…
こんな奴が
私の初めて
だなんて…っ!!

やっ

抜きなさいよ!!
今すぐっ!!

これが…
女の子の
オマ○コ…っ

んひい

ぬめ

もう奥まで
挿入った?

クリン

お腹…
苦し…っ

すごいよ…
須王さんの膣内
締め付けられて
放れないよ

ズンッ

おあ

許さない!!
絶対に殺すっ!!

もう
思い残す事は
ないっ!!

童貞卒業
出来たから

おろろ

んあ

ペニス…感じるっ
私の膣内で
ビクビク脈
打ってるっ!!



セックス
すごいっ!!

セックスっ!!
セックスしゅっ!!

で
射精そうだよっ
抜くよっ

んっ

んっ









どんなに
激しいオナニーを
しようとも
イケないし

頭に浮かぶのは
チンポの事
ばかり…

みんなあいつの
チンポのせいっ

忘れようとアンタを
遠ざければ
遠ざけるほど

早く射精し
なさいよっ!!

手に入れたい
衝動は
高まってく!!

アンタみたいな
低層階級の
人間に…

この私が
こんな…っ

屈辱だわ!!

この
バカチンポっ!!

うっ
で…っ







チンポ
はい
挿入っ
てくるのねっ

来るのね...



い...
挿入れるよ?
須王さん

あ...



こしええっ♡
チンポおおっ♡

キタああ〜っ♡

あつ
アンタなんか
嫌いよっ!!
嫌いなんだ
からあつ♡

私が欲しいのは
アンタのち—

須王さんっ
本当に
僕の事を...

は

はあ

はあ

は

はあ

きゅん

きゅん



ちよっ!?
須王さんっ!!

けどゴム
着けてないしっ

膣内射精が
どれくらい
気持ち良いのか!!

やるのよっ!!
いいっ?

どうなっても
知らないよ...

その時は責任
取りなさいよっ

このまま
膣内で
射精しなさいっ

え?

命令お



くしゃくしゃ

その後
僕たちは何時間も
何時間も
セックスをした

射精

ほ

ん

くしゃくしゃ

ん

い

くしゃくしゃ

くしゃくしゃ

くしゃくしゃ









秘密の保健室

俺にはずっと
片思いの人がいる

同じクラスの
橋口さん

物静かで
成績優秀で
大人びて
お姉さんみたいで

どこか近寄りがたい
オーラに逆に
惹かれてしまった

いつか玉砕覚悟で
告白したいと
思っているけど

実はまだ…
一度も会話すら
した事がない…

橋口さんは
俺の事なんて
これっぽちも
気にかけて
ないだろう…

どうすれば
きっかけが
生まれるか

悩み抜いた挙句
カウンセラーでもある
保健の水澤先生に
相談したのが
間違だった…



なあ？



しかし本当に君は可愛い顔をしながら

持っているモノは数見てきたチンポの中でも一番凶悪だぞ

やめて下さい！俺だってコンプレックスなんですから…

何を言う こんな女を狂わせる物を持っていないが

いい加減私のモノにしてしまいたいくらいだ

それは…



君が悪いんだぞ？

物騒なモノを隠しているから

先生…

もうこんな…

こんな事はあつ

あああ

君は私みたいな年増にされるのは嫌かい？

せつ 先生は憧れの対象っですけど…

俺はっ

俺は橋口さんが…



何度も唾えているんだもう私のモノのようなもんだろう









橋口さっ

今イキ易く
なってるのに
そんなに激しく
したら…っ

射精る…っ!!

こんな私を
知られたらと
思うと怖くて
近付けなかつた…

でも もう我慢出来ない
嫌われてもいいから
大好きな吾妻君に
私のドスケベな
痴態を見て欲しい!!

橋口さんっ
もう…で—

これが…
橋口さんの
本性…!!







うん...

れへるう♡
吾妻君の
熱いのが
奥にい♡

うん...

もも

もも

キュッ

ゴッ





イクよ
姉ちゃん

今日で姉ちゃんの
地味なJK人生は
卒業だよ

これから僕が
姉ちゃんを
改造してあげる

最高のJK生活を
送らせてあげるよ

地味な私を
卒業……

おね×全
ONE×SHOSHO



私はそんな弟に…
彼の一物に
服従する事になる



その身体に
似合わない
ペニスの持ち主
だった

ハルは
とんでもない
性欲の塊で

チチチチチチ



女手一つで
私を育ててきた
母が今の父と
再婚し弟ができた

始めは可愛い
弟だったけど

やがて本性を
顕にした



流行や
性の知識が
豊富なハル…

弱気な私は
強気なハルに
為すがまま
されるがままに
なっていた
でも私は拒否
しなかった
出来なかった



元々地味で
学業ばかり
専念してきた
私に比べ

両親は共働きで
朝は早く
夜は遅い

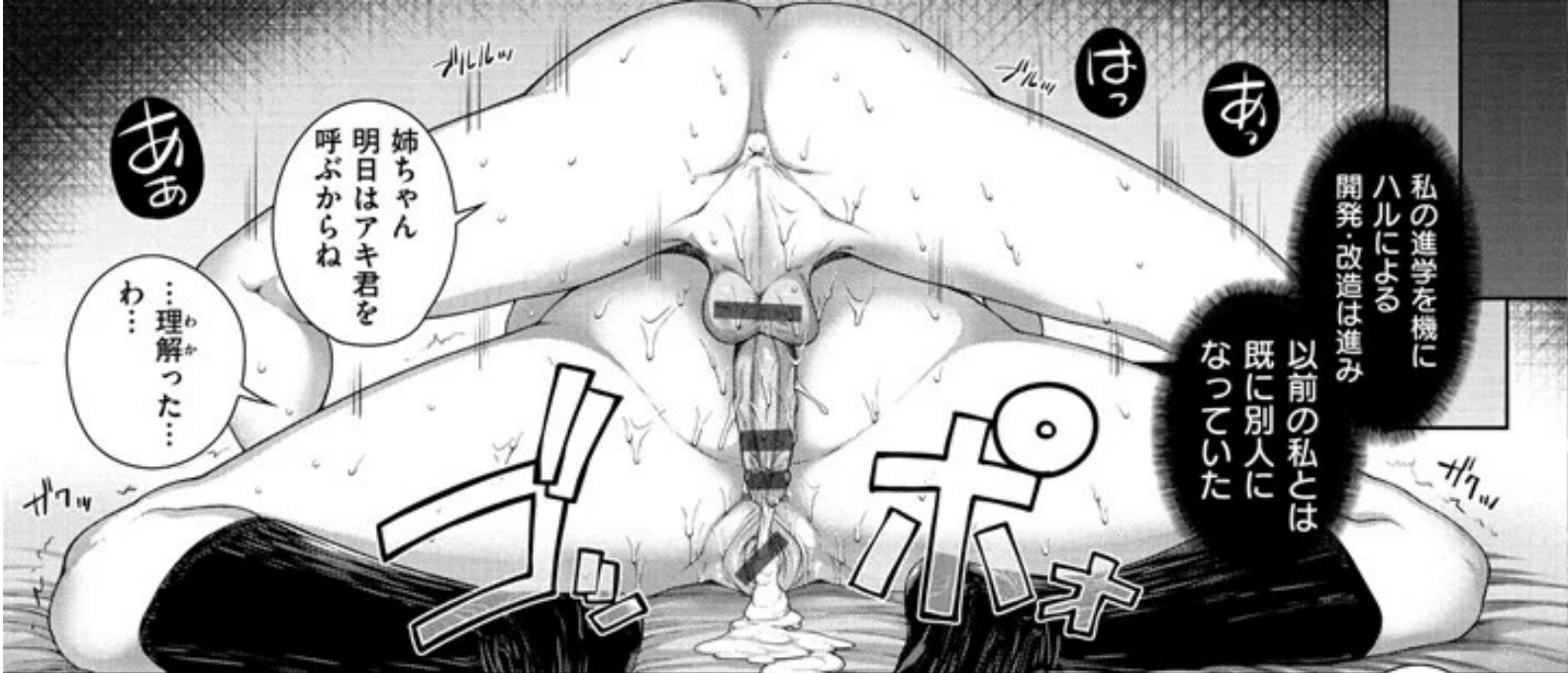


私自身も
その快楽と
スリルに
溺れていった



私達がこんな事
してるなんて
知る由もない

数学Ⅲ







これは
私達だけの
秘密…



アキ君の
チンポも
お姉さんに
見せて

アキ君も
服脱ぎなよ

ハル君っ!?
だって
恥ずかしいよっ



ふるん

しよ?

お姉さんと
気持ちイイ事



大丈夫よ
ね?



今の子って
皆こんな…

むぎん



すごいわ
アキ君…

もう立派な
大人チンポ

この皮の中は
どうなってる
のかしら

は…
恥ずかしい
です…

ハルに
引けを取らない
くらい大きい



美味しそうな
勃起チンポが
一本も…

犯す
これから
勃起チンポで
ロマン
蹂躪する…っ

あああ

ロマン



私の口はもう
ただひたすらに
この卑猥な肉棒を
貪り啜え下品に爆吸し

っ

そこから発射される
雄の本能を
受け止めるだけの
専用変態便所器官

ぽっ



姉ちゃんの
ロマン
すごいでしょ

ちんちん
取れちゃう…っ

でもね
狂った方が楽しいのよ
その事にもっと早く
気付くべきだったわ

狂ってる
と

ハルに出会う前の
あの根暗で黄真面目な
私がこの状況を見たら
なんて言っただらね
おそろい…

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん







ちやんと薬液で
綺麗にしてるから
大丈夫よ

わかりました…
それなら…

ん

ん

くちゅ

くちゅ



すごく
締め付け
られる…っ

僕も
マ○コに
入れるよ

あま

二人の
極太チンポで
膣壁ゴリゴリ
されてるっ

んんん

んんん

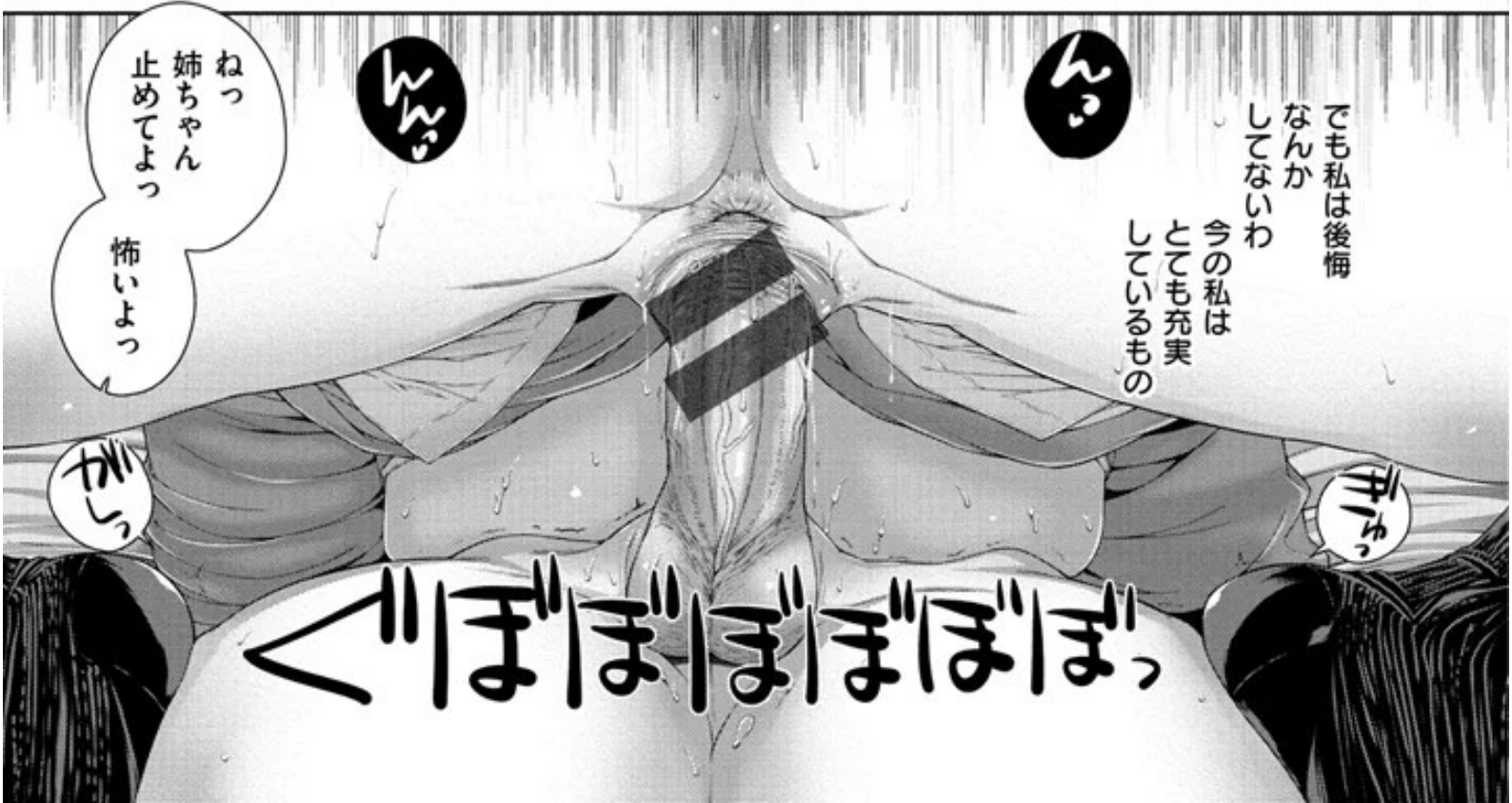


んんん

あああああ









アキ君も
まだ射精
でしょ？

まだ射精
でしょ？
ほらっ
まだ私は全然
満足して
ないのよ



ちゅっ
干切れちゃうっ

姉ちゃんが
おかしく
なっちゃったっ！



きくっ
きくから
もう...っ
いい子ね

ごめんなさい
ごめんなさい

これからは私を
満足させる為に
言う事きくわね？

もう私は
ハルの言いなり
じゃない



じゃあ
空っぽに
なるまで



射精し

射精し
尽くしなさい!!

はあ

まだ...
足りない
わね...

はあ

ごうおういん
後皇院家——

古くからこの国を
裏から動かしてきた
名家の一つ

幼少の頃に両親を
亡くした俺を
拾ってくれたのは

父の親友でもあり
後皇院の
現当主である
源一郎だった

そして同時に
義妹も出来た

川にあれ？

源一郎の一人娘で
聖華といった

おにーさまー
はやくー

聖華も
生まれながらに
母を亡くしていた

すぐに俺に懐き
本当の兄妹のように
暮らしてきた

家族を亡くした
俺にとつて聖華は
正に天使だった

お義兄様
聖華です

そして聖華は
後皇院に相應しい
美しい少女に育った

お義兄様 お夜食を
お持ち致しましたわ

俺は決めた
行く宛のない俺を
養子にしてくれた
義父に恩返し
する為にも

将来 後皇院を継ぐ
であろう聖華を
支えるためにも
今は勉学に
勤しむ日々だ

後で頂くから
置いておいてくれ

ありがとう
聖華

むっ

ダメですっ!!

おわっ!!

ヒメゴト
秘姫事









あつ
聖華!!

お義兄様なら
私を分かってくれと
思っていましたの……!!

俺だって……

聖華の事は 成長するにつれ
大好きだ 愛しさが強まって
いるのは確かだ

だがそんな事……
許される筈
ないじゃないか……
例えば血が繋がって
なくたって……
俺達は
兄妹なんだぞ……

聖華のこの疼きを……
このいやらしい身体を
慰めてくれるのは

もうお義兄様しか
居ませんのに……

ごめんなさい
お義兄様……

私もう
限界です……

お義兄様
今日も用事が
ありますので先に
お帰り下さい

分かったが…
早く帰るようにな

はい…

あれから聖華とは
必要な事以外
話さなくなっ
てしまった

よそよそしくなり
最近では放課後
になると用事だと言
い何処かへ
消えてしまう

もう子供では
ないのだから
いちいち理由は
聞かないが

毎回 酷く疲れて
帰ってくるが
聞いてもはぐらかす

私病気で
いますので…

しばらくは
聖華の好きに
させていたが

保護者として
聖華がいつも
何をしているのか

おい、
聖華
荷ってそ!!

この目で直に
確かめなければ
ならない





そうだ
そこを重点的に
責めてみる

な…何が
起こって
いるんだ!?

聖華が
小山田と!?

ちゅるるる

ちゅるる
すっ

ちゅるる

ん

ちゅるる

ん

ちゅるる

おっおど齊さされて
いるのか!!

何か
後皇院の弱みを
握られて…

助けないと…

俺が聖華を
守らないと…!!



ひんぽっ

ひんぽっ
ひんぽおっ♡

ちゅぽ
すく



ちゅぽ

前回から三日しか
経ってないのに
がっつき過ぎだぞ

ちゅぽ
すく
ちゅぽ
すく
ちゅぽ



らって
先生の嬉しい
おちんぽ
美味しくてえ♡

ちゅぽ

先生のおちんぽから
射精するザーメンミルクが
早く飲みたいんれすう♡

ちゅぽ



ちゅぽ

飲みたいのなら
もっと奉仕
してみろ



ふあい♡

ちゅぽ
ちゅぽ



ちゅぽ

ちゅぽ





受け止める
聖華…!!

しゅわいっ♡
先生の特濃ザーメン♡
きましたあ♡

俺は
なに…

くそっ





先生のおちんぽが
挿入って…



焦らさないで
下ださーい♡

せんせっ
早くっ



そう焦るな
聖華よ

え…？
挿入って…
こないっ？！

単に突っ込む
だけが
能ではない

そんなっ
入り口だけで
こんなあつ♡

もうすっかり
俺のモノに
馴染んだ
ようだな

はい♡

聖華のおマ○コは
先生のおちんぽ専用
ですからあ♡

住む世界の違う
お前のような人間から
声をかけられた時は
驚いたが
そろそろ理由を
聞かせてくれ

普段は
すました顔でいる
後皇院の令嬢が
こんな淫乱娘だと
世間が知ったら

いじわる
言わないで
ください

だけどこれが
本当の私
なんです

な…に…
聖華からだ…!?





これは私を受け入れてくれなかったお義兄様への嫌がらせですわ

私の想いを知って
いながら…

先生からは兄なんかとは
比べ物にならないくらい
男の匂いを感じました

あの兄に振られ
俺の所へ
来るとは

余程 男のモノに
飢えていたのか
この淫乱娘が

あ…ああ…
俺があの時
聖華を拒絶
したからなのか

先生の
極太オチンボが
あれば私…

他に何も
要りません



金まで払って
自分を開発
してくれとはな

んんん

金持ちの
考える事は
理解しかねるが…

なっ!!

まあお前さんも
僕のリストに
入れていた女だ
しっかり面倒を
みてやるわい

お願いします
私を満たして
くれるのはもう
先生しかいませんっ



あああつ!!

そんな...
俺のせいで...
聖華が...



オチンポ
すごいっ♡

また...っ
イぎますっ♡



何でも
しまひゅっ♡



先生の
オチンポが無いと
もう生きて
いけなっ

お前は僕が見てきた
生徒の中で
一番飲み込みが速いが
まだまだ修練は足りん

だからあだから
聖華のオマ○コ
先生のオチンポで
壊してくだひゃいっ♡

お前は僕専用の
肉便器奴隷だ

聖華は
先生専用の
肉便器奴隷??

なんて…素敵な
響きなのおっ♡

お前は僕の最高の
コレクションに
してやるから
安心して
狂えばいい
いっ…

肉便器専用
お前が専用
肉便器だ!!

♡~~~~♡

後の処理は
頼むぞ

はいご指導
ありがとうございます
ございました

…まだそこに
居らっしゃるの
でしょうか？
お義兄様

さぞ幻滅
なさっておいで
でしょうが…
これが本当の私だと
お思ってください

私…
お義兄様を
恨んでなんて
いませんわ
だって見て下さい
とっても綺麗でしょう
今の私

あの時 お義兄様が
私を拒んでくれたから
先生に出会えたんです
そして本当の喜びと
いうものを知る事が
できましたわ

でも…
お義兄様の元へ
戻っても良いとも
思っているのですよ

聖華…お前…
自分が何を
しているのか
分かって…

先生よりも私を
悦ばせる事が
できれば…ですけど

無理でしょう？
おいさま♡



好きになって
くれる気持ちは
嬉しいけど

私

男の子と
付き合うつもり
ないんだ

宮沢くん
結構イケてる
と思うけどなあ

ちやうねん
優奈の中じや
そういうんは

どゆこと?

もったい
ない

ちよつまつ
丸川さんっ

名前

私のお父さん

待ちきれなくて
来てしまったよ

ううん
嬉しいよ

さっきの彼
いいのかい？

うん
別に

男子から告白
されたのに
随分素っ気ない
じゃないか

優奈 視線で
分かるんだ

男の子は皆
優奈の身体しか
見てないって

ハハハ：
これは
手厳しいな

だが 思春期の
男子というのは
そういうものだよ

それに私だって
目的はその
男子達よりも
酷いものだ

おじさんは
大好きだよ

優奈はセックス
知らなそうな
男の子には全然
キョーミ無いけど

おじさんは
セックスも
上手だし

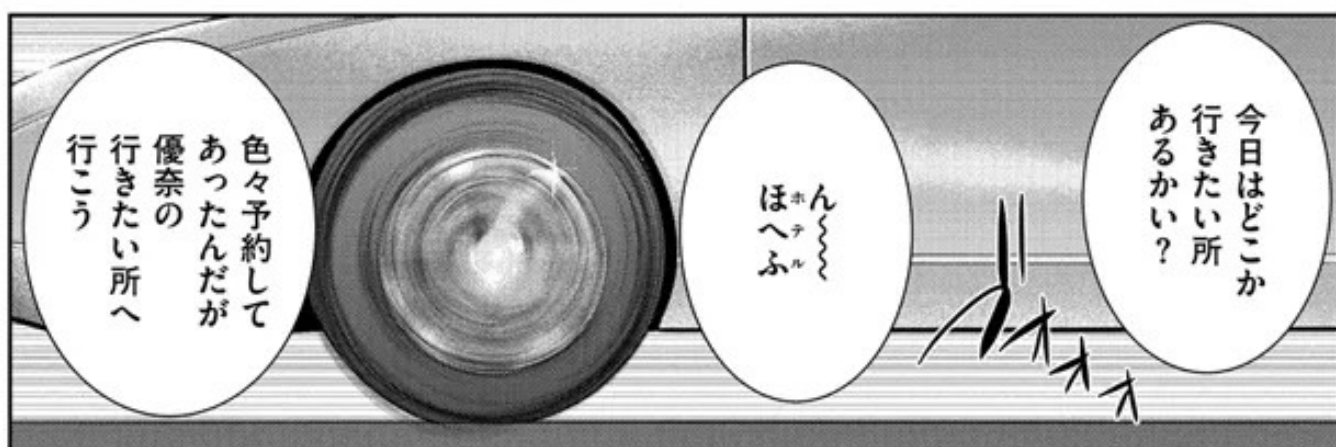
オチンポも
優奈好みで
大きいし：♡



おじさんは
優奈の全部を
見てくれる

最高の
褒め言葉だよ

その上で
優奈を女として
扱ってくれる



今日はどこか
行きたい所
あるかい？

ほん
て
ふ

色々予約して
あったんだが
優奈の
行きたい所へ
行こう



おじさんとは
週に一度
こうして
逢引きしてる



褒められ
ちゃった
嬉しいな

今日は優奈
一杯頑張るね

ハハハ
それは私の
セリフ
台詞だよ？



優奈は本当に
私を喜ばせて
くれるね

いい子だ

おじさんは
社長さんで
お金持ちだけど
別にそういうのは
どうでもいいの

おじさんは
優奈にとても
優しくしてくれる
お父さんみたいに

シャワーを
浴びてくるから
少し待って—

えいっ

うおっ!?

優奈は
そのままだ方が
いいな

おいおい
優奈





どうせこれから
ぐちよぐちよに
なるんだし

優奈が
ペロペロして
綺麗にして
あげる

優奈は
おじさんの匂い…
大好きだよ

おじさんの体臭…
キツイだろう？



頭に刻みこまれ
ちゅちゅてる

優奈の
性感スウィッチの
一つだもん



おじさんの匂い
嗅いだけで
イキそうになるの



こんなの
フツーだと
思うけどなあ

こんなおじさんの
匂いが好きとは
優奈は飛びきり
貴重な存在だよ



確かに…
もう湿って
いるね

うちの娘は
君と同年
だが

近頃じゃ
嫌われてろくに
口も聞いて
くれないよ

特に
私の加齢臭が
気持ち悪いと
言ってる
避けられている

お父さんの匂いが
嫌いなんて
おかしいね

そうなの？
おじさん
可哀想…

昔はよく自分から
ほっぺにチューとか
してくれたんだがね

車の続き
していい？
おじさん

おじさんの涎
美味し…♡

ああ
優奈の好きに
しなさい





そんなに私のチンポが待ち遠しかったかい？

うんだかららひへドロドロザーメン

優奈の「ロマ○」おじさんのザーメンで溺れさせて

今ので優奈もイッてしまったのかい？

余程私のザーメンが好きなのだね優奈は

すごいキタッ♡一週間ぶりのドロドロのザーメンっ

好きっこれ好き♡

好き好き♡頭の中までおじさんザーメンでマーキングされてるの♡

ゴツゴツした
おじさんの手も
優奈のお気に入りなの

んあ、あ、あ

お父さんの手って
きつとこんな感じ
なんだろうな

また
イキそうだね？

優奈の弱い所
正確に責めてくる
同年代の男の子とか
まして童貞君なんか
こんなの無理だよな

おじさんの手に
何回イカされたか
もう覚えてない

そろそろ
挿入れようか

おじさん来て
早く
優奈のココ
ズボズボして♡

PiRiRi

それじゃあ
行くからね

おや？





んっ
優奈の膣内に
全部：

ちゃんと収まったよ
おじさんの
極太オチンポ♡

偉いね
優奈

じゃあ先ずは
いつもみたいに
自分でして
みようか

はい…♡

おじさんの
オチンポっ
すごひのっ♡

優奈のオマ○コ
持ってかれ
ひやうっ

んっ…

んっ…

んっ…





さあ
掴まって

はん



ひ

フミ

ず
びう



分かった
やろ?

?

もう...
いい...



せやから
やめとき
言うたん

ホニ
ホニ

.....

イハ
イハ

はわめ



今日はうちらが
慰めたるから
パ一ツと
カラオケでも
行こな一

宮城の
おニ

アハ
アハ



ベッドへ
行こうね

ん

ん

ん

ぶちゅ

ズ

ぶちゅ

ズ

ぶちゅ

ズ

ぶちゅ

ズ

ちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ

ぶちゅ





好きっ♡
おじさん
好きなのおっ♡

あーっ

射精してっ
おの
膣奥につ

そろそろ
射精そうだ

優奈の子宮
おじさんの
サーメンで
一杯にい♡





優奈：
もし家族と別れたら
私と一緒にになって
くれるかい？

え？

その後
何度も何度も
何回イッたか
覚えてないくらい
イカされて——
一週間分の
愛を優奈の中に
注いでもらった





女子校――

そこは
男なら誰もが
夢見る

桃源郷……
ここは良家の
お嬢様ばかりが
通う名門で

幼小中高一貫校

専任教師が
結婚を機に
辞めたらしく

何故か俺に
補充の
御達しが……!!

私立龍宮女学園

彼女いない歴
約三年……

俺にも
また春がつ!!

もしかして
この子達の誰かと
親密な関係に
なっちゃったり
したりして……

Welcome to princess paradise!!
龍宮女学園





皆さん!!
とつくにHHRは
始まって
いますよ!!

ばゆん

殿方の先生が
みえたからと
騒ぐなんて
はしたない!!

すみ
速やかに
席に着いて

あれは…
彼女が龍宮寺乙姫
龍宮寺家の
お嬢様…

先生も
先生です

困ったら
ちゃんと注意
なさって下さい

龍宮寺学園・理事長代理
龍宮寺 乙姫

この学園の
創設者の子孫
なるほど

文字通り彼女は
特別な存在で誤だ
…ってめっちゃ
睨まれてる…

はい…
はい…

リン

ゴゴゴゴゴゴ



龍宮寺...?
な...何してるんだ?
こんな時間に...
しかもその格好は...

奇遇ですね
このような所で
お会いするなんて

私だって
遊びくらい
嗜みます

今も街で
殿方達と
遊んできた
帰りですわ

ほ...
本当に龍宮寺
なのか...? 学園とは
雰囲気全然...

先生も
してみますか?

え...?
何を...

私の味見を...

これがあの 学園では
品行方正な 飯面を被って
龍宮寺だって こっちの姿が
いいのか...? 本当だとしても?

きゅん



すぐ迎えに来て
もらうんだ
それまでは
僕の部屋で
待つといい…



君のような子が
こんな事
してちゃ!!

駄目
じゃないか!!



特に理事長の
ご息女である
龍宮寺君の扱いには
十二分に気を付けて
くれたまえ

彼女に何かあれば
私は君を…
君の事をおおつ



これで…
これで良いんだ
あつちやいけない

それに今
ここに
居るのは…

そりや
可愛い生徒と
あらぬ関係…つてのは
期待してたけど



やはり
この方は
私の…



ていうか
終わったかな

ただのヒーラの
補充教師が
理事長の娘を
叱咤するなんて…

懲戒ものだな
これは…



引っ越してきたばかりでまだ何も無いけど...

適当に座ってお茶でも淹れるから

えーと...
実家で採れたお茶っ葉は...

うわっ!!
龍宮寺!?

ななな
何してるんだ!?
僕と君は
教師と生徒でっ

そんな
在り来たりの
台詞...

先生は
こういう事
お嫌いな
のですか？

嫌いじゃない
嫌いじゃないけど…
駄目だ
こんな事はっ

では私の下腹部で
大きくなっている
物はなんのです？

不可抗力っ
不可抗力だ!!

ヤバ…
勃起^たってきた…!!

ムニ

私欲しい物は
どんな手を
使っても手に
入れますわ

はあ…
すごく
パンパン…

早く楽にして
さしあげ
ないと…

けっ
権力を
使うのか!!?

ずい

あ

ちよっ!!
待っ!!

好きです…

先生の匂い…
クセになります

はるん

すごい香り…
これが
男の人の…

お嬢様なのに
やっぱり本当に
男遊びしまくって
いるってのか…!!

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん





…じめて
なんです…

龍宮寺…?

え?

身内以外の殿方に
触れたのも

キス…
するの…

ゴゴゴ

どうしましょう
今頃緊張で
震えが…ああ

まして殿方の
おおお…
おちんちんを
見るのだってっ





なっなんで
俺がJK好きって
ししし知って
いるのかなあ？

龍宮寺の情報収集能力を
使えば先生のご嗜好を
知る事など造作も
ない事です…

教員選定に際し
先生の事を
調査致しました

調べれば
調べるほど
お人柄を深く知り
私は貴方に
惹かれました

権力と謀略渦まき
閉鎖された私達の
世界に居る殿方は
私の…龍宮寺の力が
欲しいだけ…

先生なら私を
眩しい世界へ
連れて行ってくれる…
いえ…先生だから
こそ…

私も先生と
同じ世界へ
行きたい…
先生と一緒に
生きたい…

この子は大変な
世界に生きてるけど
本当は普通の
女の子になりたい
だけなのかもしれない

私を貰って
下さい…
私を先生の物に
して下さい…

龍宮寺が
ここまでして
くれてるのに
ここで引いたら
男の資格無しだぞ
椎太郎!!

にちめ

ありがたい
龍宮寺が
僕の事をそこまで
想ってくれてる
なんて嬉しいよ

私の方こそ
貴方とこうなるのを
ずっと夢に見て
参りました...

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

ぐちゅう

本当に...
いいんだね?

大...丈夫です...
この痛みは先生と
繋がれた証
なのでから

ほ

う...
う...

大丈夫か?

んっ
んっ

私の全部を
知って
欲しい...

私に刻んで下さい
先生の全部...
教えて下さい
スケベな事...

ほ

んん

おん

龍宮寺...っ



いや
減茶苦茶エロくて
気持ち良かったよ

でも想像していた
物より実物は
全然遅しくて...



入ったよ
龍宮寺...

それにしても
初めてなのに
あんな風に
啜るなんて

予備知識では
殿方にはあれが
喜ばれるのだと...
違いましたか?



普段から
チンポの知識を
蓄えて

いつも
チンポの事
考えてたのか?

恥ずかしいっ
でも...

してました...っ
オチンポの事
想像しながら
毎日毎日オナニー
してましたっ

お嬢様なのに
とんでもない
スケベな子
だったとは

身分など
関係ありませんっ
女の子は皆
いつでも殿方の遅しい
オチンポの事
考えているのですっ



でもようやく
出会えたのです
私の運命の
殿方に...

好きなんですっ
浦山先生っ
私の旦那様
に
なつて下さいっ

でもさ
僕の事ごく
睨んでたよね…

あっ
あれは…
めっ

めっ？

眼鏡
すれば？

眼鏡は
プライベートで
しか…
恥ずかしいので…

お恥ずかしい
話ですが私
すごく目が悪くて…
今日はコンタクトを
忘れてしまい…

似合うと
思うけどな

ほっ 本当
ですか？
嬉しい

意外と
ドジっ子
なのだろうか





今さらに
締め付けが
きつくなった
けど

急に
名前で呼んで
頂けましたから
嬉しくて...

先生の
オチンポ...

オナニー
なんかとは
比べ物にならないっ



指なんかじゃ
届かない一番奥の
気持ち良い所
突かれて...

恥ずかしい声
先生に聞かれ
ちやいます





先生のオチンポ
気持ち良すぎへっ
スケベな声
出ちゃっ♡

らめっ♡

あっ

わかりっ
まひつたあ♡

僕も乙姫の事
もっと
知りたいから

乙姫の
恥ずかしい声
もっと聞かせてくれ

私の恥ずかしい所
ちゃんと見て
聞いて感じて
くださっ♡





先生…っ
私先生に相應しい
スケベな女に
なれていますか？

先生の事
ちゃんと
気持ち良く
出来ていますか？



俺には
勿体無いくらい
乙姫はエロいよ

百点満点
いや一億点っ

先生に喜んで
頂けて私とても
嬉しい

射精そうだ
乙姫…っ

らひへくだひやい
私の腰内れえ♡



あ...ああ...♡
射精でまる...♡

私の一番
スケベな
所でえ...♡

ん...
ん...

お...
お...

父様も母様も
今は衛星軌道上
ですから

衛星きど…
え？

三カ月は
降りてきません
から

その間は
たっぷりここで
先生と愛を
育めます

はい
次世代SS建設の
陣頭指揮を
とっています

スケールが
大き過ぎて
なんだか
目眩が…





代理と言っても
実質私が
理事長みたいな
ものですから
これはもう
決定事項です

いずれは先生が
学園長の椅子に…



先生には
副学園長の席を
御用意致します

な…
ええ!!
学園長は
なんて…



素敵です
先生
それでこそ
私の旦那様

まずは学園を
二人の相応しい
場所にしましょう
そして将来は
この国を貴方に…

こうなったら
行く所まで
行くか

この学園に来て
いきなり
とんでもない事に
なっちゃったけど
夢なら
覚めないでくれ…!!

ようこそ
龍宮女学園へ●完

自分の気持ちを
偽ってた事が

今ではすごく
馬鹿みたいに
思ってる

かみおのこ

（自分の気持ちに
逆らわない事が
こんなに
気持ちいい事
なんだって）

射で精る
彩奈っ

凛音…
射精すぞ!!

誰にも
邪魔なんて
させない

えいつあ
あえあい
♡

あいき
♡

私達の
「兄妹至上主義」

もっと
ちよこ
おいしい
♡

これは私がまだ
馬鹿だった頃…

あゝあ
いい加減
彼氏作ろうかな

え？

タカ兄が
いるでしょ？

はっ
はあっ!?

いやいやいや
兄貴だし？
あり得ないし

バカ言わない
でよね
もう…

ほ…本当は
タカ兄が
好き…

だなんて
言える訳
ないじゃない

まあタカ兄を
出すあたり
凜音もまだまだ
お子様って事よね

凜音にはまだ
こういう恋話は
早かったな！

彩奈ちゃんか
思ってるほど
子供じやないよ
私

好きな人も
ちゃんと
いるんだから

え…
マジ？
誰？

兄妹系上戸義

彩奈・凜音編



私と凛音は
生まれた時から
幼馴染

私にはタカ兄が
凛音にはヒロ兄が
居て

どこへ行くにも
いつも一緒だった

私達四人は
みんなで兄妹として
育ったんだ…

生まれた日は
一緒だけど
いつも私の後を
着いてくる凛音は
妹みたいに思ってた

あやなちゃん
まてえ

そんな凛音が
あんな事言い出す
なんて…きつとまだ
子供だからだよな

あーやーなー
ちやーん

えっ？

あっうん

どうしたの？
ぼおっとして
待ち合わせ場所
着いたよ？

でもさっきの
凛音の顔は
冗談言ってるように
見えなかったし…

ん？

子供だと思ってた
のにずっと先を
進んでしまった…
感じてしまった…

あっ
ヒロ兄♡

よう

タカ兄…





簡単だよ？
自分の気持ちに
素直になれば
いいんだよ

あ
自分を解放すれば
こんなにも
気持ちイイよっ♡

そうだよな…
本当はこんな事

ゴメンな彩奈…
お前の気持ちを
無視して

ダメ…っ
謝らないで
タカ兄

このままじゃ
この先
タカ兄と…っ
素直になるんだ

お前じゃないと
生きて行けない

私もだよ
タカ兄

本当にっ

本当に
私なんかで
良いの？
タカ兄…

兄妹なのに？

ああ

んわ

あ

ドクン
ドクン
ドクン





タ力兄好き
タ力兄ふひ

好き好ひひゅひっ
タ力兄タ力にい















あ

私だって
ずっと夢見てたん
だからあ

ん

タカ兄と一緒に
なりたいってえ

彩奈ちゃんが
自分に素直に
なったから
繋がれたんだよ

タカ兄が好きって
気持ち解放
したからっ

そろそろ
射精すぞ
凜音っ

いつもみたいに
一番奥でっ♡

あ

ダメだ...っ
彩奈の膣内
気持ち良すぎてっ
もう...っ

私もっ
このまま
膣内でっ
タカ兄っ

ん

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん
ん









あとがき

初めまして、吉田犬人と申します。

この度は「放課後はメスの顔」を
手に取って頂きありがとうございます。

ワニマガジン様からは初となるこの単行本。
ようやく形にする事ができ、
喜びもひとしおです。

放課後というどこか
隔絶された時間に見せる、
彼女達の快楽に溺れた痴態は
いかがだったでしょうか。

これからもエロい話をお届けできるよう
精進していきたいと思いますので
何卒お付き合い頂ければ幸いです。

吉田犬人



初 出 一 覧

イケない妹

COMIC快楽天2017年1月号増刊COMIC X-EROS #49

肉食！セレビチビッチ

COMIC快楽天2016年4月号増刊COMIC X-EROS #40

お嬢様の凶悪で脅迫な告白

COMIC快楽天2014年2月号増刊COMIC X-EROS #14

秘密の保健室

COMIC快楽天2014年10月号増刊COMIC X-EROS #22

おね×ショショ

COMIC快楽天2015年2月号増刊COMIC X-EROS #26

秘姫事

COMIC快楽天2013年4月号増刊COMIC X-EROS #04

私のお父さん

COMIC快楽天2013年10月号増刊COMIC X-EROS #10

ようこそ龍宮女学園へ

COMIC快楽天2013年10月号増刊COMIC X-EROS #34

兄妹至上主義 彩奈・凜音編

COMIC快楽天2014年6月号増刊COMIC X-EROS #18

以上の作品に加筆・修正を行いました。



WANIMAGAZINE COMICS SPECIAL

放課後はメスの顔

2017年7月10日 第1刷発行

著者／吉田犬人

©YOSHIDA INUHITO/WANIMAGAZINE 2017

発行者／金子道夫

発行所／株式会社ワニマガジン社

〒160-8580東京都新宿区内藤町一番地

☎03-3357-2911(代表)

☎03-3357-2957(販売)

印刷所／図書印刷株式会社

製本所／株式会社明興製本

ISBN978-4-86269-496-6

定価はカバーに表示してあります。
落丁・乱丁はお取替えいたします。
本書の無断複写・複製・転載を禁じ
購入者以外の第三者によるいかなる
電子複製も認められておりません。



放課後はメスの顔

吉田 犬人







ナカダシできる日
ずっと待ってた…



WWW.HENTAIOMG.COM